

2年 PROGRAM 2  
単元目標

Leave Only Footprints

「すべきこと」「してはいけないこと」などを表現する。  
カナダの様子や自然保護について話す。  
自分の考えについて、意欲的にやりとりする。

※3観点と5領域についての評価の観点を原則としてすべてあげてあるが、指導計画策定時に単元単位で重点化して指導すべき観点を定めて、その観点の評価を中心に据える。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>聞くこと</p> <p>学校や日常生活での規則や、相手の考えについての話を聞いて、理解することができる。</p>	<p>&lt;知識&gt; 学校・日常生活に関する語句や、I think..., must, have to などの意味や働きを理解している。(S)</p> <p>&lt;技能&gt; I think..., must, have to などの意味や働きの理解を基に、学校・日常生活についての内容を聞き取る技能を身につけている。(S)</p>	<p>学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞いて、要点を捉えている。(S)</p>	<p>学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞いて、要点を捉えようとしている。(S)</p>
	A: 学校・日常生活に関する語句や I think..., must, have to などの意味や働きを十分理解し、学校・日常生活における規則や相手の考えについて、十分聞き取ることができる。	A: 学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞いて、要点を十分捉えることができる。	A: 学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞く際にメモをとるなど、自ら進んで要点を捉えようとしている。
	B: 学校・日常生活に関する語句や I think..., must, have to などの意味や働きを理解し、学校・日常生活における規則や相手の考えについて、おおむね聞き取ることができる。	B: 学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞いて、要点をおおむね捉えることができる。	B: 学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞いて、要点を捉えようとしている。
	C: 助けがあれば、学校・日常生活に関する語句や I think..., must, have to などの意味や働きを理解し、学校・日常生活における規則や相手の考えについて、何とか聞き取ることができる。	C: 助けがあれば、学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞いて、要点を何とか捉えることができる。	C: 助けがあれば、学校・日常生活における規則や相手の考えを理解するために、対話を聞いて、要点を捉えようとしている。
<p>読むこと</p> <p>会話を読んで、概要や要点を読み取ることができる。</p>	<p>&lt;知識&gt; カナダの自然に関する語句や、I think..., must, have to などの意味や働きを理解している。(T)</p> <p>&lt;技能&gt; I think..., must, have to などの意味や働きの理解を基に、会話文の内容を読み取る技能を身につけている。(T)</p>	<p>登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読んで、概要、要点を捉えている。(T)</p>	<p>登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読んで、概要、要点を捉えようとしている。(T)</p>
	A: カナダの自然に関する語句や I think..., must, have to などの意味や働きを十分理解し、会話文を十分読み取ることができる。	A: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読んで、概要、要点を十分捉えることができる。	A: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読む際に未知語を調べるなど、自ら進んで概要、要点を捉えようとしている。
	B: カナダの自然に関する語句や I think..., must, have to などの意味や働きを理解し、会話文をおおむね読み取ることができる。	B: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読んで、概要、要点をおおむね捉えることができる。	B: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読んで、概要、要点を捉えようとしている。
	C: 助けがあれば、カナダの自然に関する語句や I think..., must, have to などの意味や働きを理解し、何とか会話文を読み取ることができる。	C: 助けがあれば、登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読んで、概要、要点を何とか捉えることができる。	C: 助けがあれば、登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文を読んで、概要、要点を捉えようとしている。
<p>話すこと(やり取り)</p> <p>学校行事や好きな動物について、伝え合うことができる。</p>	<p>&lt;知識&gt; 学校行事や好きな動物に関する語句や、I think...などの表現の特徴や決まりを理解している。(I1, 2①)</p> <p>&lt;技能&gt; 学校行事や好きな動物について、I think...などの表現の特徴や決まりの理解を基に、自分の考えを伝え合う技能を身につけている。(I1, 2①)</p>	<p>自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに伝え合っている。(I1, 2①)</p>	<p>自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに伝え合おうとしている。(I1, 2①)</p>
	A: 学校行事や好きな動物について、I think...などの表現を適切に用いて、自分の考えをほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A: 自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに詳しく、効果的に伝え合うことができる。	A: 自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、ジェスチャーなどを交えたり相槌を打ったりしながら、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B: 学校行事や好きな動物について、I think...などの表現を用いて、自分の考えをコミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B: 自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに伝え合うことができる。	B: 自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに伝え合おうとしている。
	C: 助けがあれば、学校行事や好きな動物について、I think...などの表現を用いて、自分の考えを何とか英語で伝え合うことができる。(または、Bに達していない。)	C: 助けがあれば、自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、何とか伝え合うことができる。	C: 助けがあれば、自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行の行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに何とか伝え合おうとしている。
<p>話すこと(発表)</p> <p>会話文を読んで、その内容について、発表することができる。</p>	<p>&lt;知識&gt; カナダの自然についての語句や、I think..., must, have to などの表現の特徴や決まりを理解している。(R)</p> <p>&lt;技能&gt; カナダでのハイキングについて、I think..., must, have to などの表現の特徴や決まりの理解を基に、話す技能を身につけている。(R)</p>	<p>登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見ながら概要を話している。(R)</p>	<p>登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、簡単な語句や文を用いて、写真や絵を見ながら概要を話そうとしている。(R)</p>
	A: カナダでのハイキングについて、I think..., must, have to などの表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	A: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、写真や絵を見ながら詳しく、効果的に概要を話すことができる。	A: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、アイコンタクトやジェスチャーを交えながら、自ら進んで概要を話そうとしている。
	B: カナダでのハイキングについて、I think..., must, have to などの表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	B: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、写真や絵を見ながら概要を話すことができる。	B: 登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、概要を話そうとしている。
	C: 助けがあれば、カナダでのハイキングについて、I think..., must, have to などの表現を用いて、何とか英語で話すことができる。	C: 助けがあれば、登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、写真や絵を見ながら概要を何とか話すことができる。	C: 助けがあれば、登場人物の海外での体験を他の人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、概要を何とか話そうとしている。
<p>書くこと</p> <p>学校・日常生活での規則や自分の考えについて、書くことができる。</p>	<p>&lt;知識&gt; 学校・日常生活に関する語句や、I think..., must, have to などの表現の特徴や決まりを理解している。(S1, I2②)</p> <p>&lt;技能&gt; 学校・日常生活でのルールや自分の考えについて、I think..., must, have to などの表現の特徴や決まりの理解を基に、書く技能を身につけている。(S1, I2②)</p>	<p>自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、簡単な語句や文を用いて、理由とともに書いている。(I2②)</p>	<p>自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、簡単な語句や文を用いて、理由とともに書こうとしている。(I2②)</p>
	A: 学校・日常生活での規則や自分の考えについて、I think..., must, have to などの表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	A: 自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、理由とともに詳しく、効果的に書くことができる。	A: 自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、理由や説明を詳しくつけ加えるなどして、自ら進んで書こうとしている。
	B: 学校・日常生活での規則や自分の考えについて、I think..., must, have to などの表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B: 自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、理由とともに書くことができる。	B: 自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、理由とともに書こうとしている。
	C: 助けがあれば、学校・日常生活での規則や自分の考えについて、I think..., must, have to などの表現を用いて、何とか書くことができる。	C: 助けがあれば、自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、理由とともに何とか書くことができる。	C: 助けがあれば、自分の考えを伝えるために、ペットにしたい動物について、理由とともに何とか書こうとしている。